



会 合 (49年12月～50年2月) (かっこ内は出席者数)

第4回理事会 12.17 (11) 議題 1. 前回議事録の承認 2. 支部長会議報告 3. 秋季大会報告 4. 会計報告 5. 事務所賃貸借料の件 6. 春季大会の件 7. 来年度研究受託の件 8. 来年度研究部会の新設及び継続申請の件 9. 計測自動制御学会の協賛依頼の件 10. 報文集の運用基準案の件 11. 来年度国際会議派遣候補者推薦の件 12. 次期役員候補者推薦依頼の件 13. 入退会の件 14. その他

第5回理事会 50.1.14 (14) 議題 1. 前回議事録の承認 2. 50年度予算案の件 3. 企画委員会の件 4. 入退会の件 5. 職員採用の件 6. 表彰委員会からの提案の件 7. その他

第6回理事会 2.25 (11) 議題 1. 前回議事録の承認 2. 50年度予算第2次案の件 3. 春季大会の件 4. 秋季大会の件 5. 第18回自動制御連合講演会の協賛依頼の件 6. 英文学会誌の印刷方法の件 7. 入退会の件 8. 第7回国際OR会議の日本代表団の件 9. その他

表彰委員会 12.2 (2)

国際会議実行委員会 12.4 (8); 1.24 (9); 2.19 (10)

大会実行委員会 12.10 (8); 2.13 (9)

IAOR委員会 12.11 (3); 2.4 (2)

編集委員会 1.22 (6); 2.9 (10)

研究普及委員会 1.29 (13)

広告委員会 2.3 (1)

ORサロン 1.30 (13) “技術開発の新傾向”

庶務幹事会 12.9 (7); 1.9 (4); 2.3 (6)

会計幹事会 12.20 (2); 1.9 (3); 2.3 (2)

編集幹事会 1.10 (7)

主査会議 2.27 (9)

入退会 (49.9.17より50.2.24まで第4,5,6回理事會にて承認)

入 会

〔正会員〕

池野九平(岩手大)・石川 渉(日本パルプ工業)・

上田秀一(東亜燃料工業)・宇納康一(日本自動車研究所)・大河内勝司(都市科学研究所)・勝原昌敏(Fairleigh Dickson Univ.)・北野弓子(東京理科大)・木下知己(三菱総研)・小島崇弘(東京理科大)・野中敏雄(中大)・武田常一(四国女子大)・南 俊博(金沢女子短大)・山崎稀嗣(岡山大)・保原光雄(国鉄)・羽田隆男(東海大)・杉山高一(統数研)・荒木幹雄(ヤンマーディーゼル)・井上 勤(芦屋大)・岡澤 宏(住友化学工業)・太田七郎(新潟鉄工所)・Oguntade Olufemi(東大)・小館英實(東芝)・清水保彦(清水建設)・杉田 肇(杉田医院)・西沢 勇(中日新聞社)・高橋 勝(海上保安庁)・平井義人(日大)・深川泰士郎(エスエス製薬)・古田興司(松下技研)・Yechiali Uri(Tel-Aviv Univ.)・明神 証(京大)・中島恭一(姫路工大)・飛岡 滋(マイルス・三共)・藤本邦明(アサー・アンダーセン・アンド・カンパニー)・小島義輝(アサー・アンダーセン・アンド・カンパニー)・村上良雄(防衛庁)・天野正博(林業試験場)・大西英行(住友金属工業)・小池澄男(三菱信託銀行)・坂本 登(三重県農業技術センター)・島田 功(中国計算センター)・久末博昭(日本アイ・ビー・エム)・古谷英俊(全日空)・山内 有(三菱信託銀行)・井ノ川欽浩(日通総研)・原雄(千葉県公害研究所)・二塚義一郎(東京電気通信局)・和田 弘(三菱重工)

(以上48名)

〔学生会員〕

河野一郎(早大)・坂元克博(青山学院大)・山本雅暁(東京理科大)・中島和生(阪大)・中里 純(早大)・山本純陽(早大)・米沢隆嗣(千葉工大)・正道寺 勉(青山学院大)・甲斐良隆(京大)・尾花健二(工学院大)・田村哲也(京大)・仲川勇二(京大)・島山富美生(工学院大)・細井義孝(東大)・木嶋恭一(東工大)・岩崎一哉(慶大)・梅田 学(広島大)・数佐明男(広島大)・来山敏彦(広島大)・坂井榮一郎(青山学院大)・志和木薫(広島大)・田中秀樹(慶大)・伊倉義郎(東大)・内田富夫(東工大)・高見義則(東工大)・豊田丈輔(京大)・山崎 勉(東工大)・長谷部利文(広島大)・布浦徹夫(広島大)・堀内和一郎(慶大)・森 泰伸(千葉工大)

(以上 31 名)

〔賛助会員〕

(株)北辰電機製作所・伊藤忠商事(株)

(以上 2 社)

退 会

〔正会員〕

東儀以・飯田正雄・原保次郎・原田開太・宇都宮肇・野志 功・森崎千之・菅野文男・鶴 求・足立一夫・三宅静太郎・篠沢昭二・庄司源弥・山下英男・尾見半左右・三好俊夫・谷口和雄・出牛正芳・諏訪照子・田原保二・関根敏雄・和田洋二郎・町田孝道・家子 信・細川孝行・岸 利呉・加香雪雄・小島哲・阿澄一寛・日箇原徹・佐藤 至・小杉隆至・泥堂多積・森野清治・天野錬作・高木 宏・小林 孝・井上 洋・原 治平・滝沢正隆・石村 雅・西亀達夫・菅波三郎・内野建夫・清家 正・杉本欣一

(以上 46 名)

〔学生会員〕

折田寛彦・西村康一・石塚 忍

(以上 3 名)

〔賛助会員〕

石川島播磨重工業・三菱自動車工業・三井石油化学工業・東海テレビ放送・トタニ合金鋳工所

(以上 5 社)

昭和 49 年度役員・委員・幹事・評議員
名簿

本学会の昭和 49 年度の役員・評議員・委員・幹事は下記の方々です。(敬称略)

役 員 (*の方は 50 年度重任)

会 長 森口繁一*

副会長 唐津 一*・西野吉次・横山 保

庶 務 池田 孝*・竹原清隆*・真壁 肇

国 際 矢矧晴一郎

編 集 宮沢光一

研 究 岸 尚・森下啓造*

会 計 松島康夫*

無任所 長谷川利治*・宮川公男*・村手光彦・渡辺浩*

監 事 中島勝吉*・山口英治

研究普及委員・幹事

委員長 西野吉次

理 事 岸 尚・森下啓造

委 員 伊理正夫・卜部舜一・奥村誠次郎・権藤元・原 亨・松崎功保・十代田三知男・

森村英典・矢部 真

幹事長 古林 隆

幹 事 鈴木道夫・伊井 勉・高橋隆男・木村興治・村越稔弘・神山 肅・藤原良叔・加藤一郎

編集委員・幹事

委員長 宮沢光一

副委員長 成久洋之

委 員 阿部俊一・青沼龍雄・江副 力・岸 尚・高橋啓郎・飛田武幸・三上 操・渡辺 浩

委員兼幹事長 高森 寛

副幹事長 梅沢 豊

幹 事 市村隆哉・小池将貴・坂本 実・高橋隆男・高橋 誠・中 誠・森 雅夫

IAOR 委員

委員長 近藤次郎

委 員 出居 茂・梅沢 豊・古林 隆・中川友康・橋田 温・伏見正則・森 雅夫・森清 堯・岡本吉晴

庶務幹事

幹 事 安西祐一郎・能條 哲・浜 民雄・平野和夫・藤野和建・森清 堯・若山邦紘

会計幹事

幹 事 北村丈一・藤田一男

表彰委員

委員長 横山 保

副委員長 原野秀永

委 員 近藤次郎・西野吉次・三上 操・三根 久・宮沢光一・森口繁一・森村英典・矢部 真・横井 満

評議員 (50 年度重任)

青木兼一・青山博次郎・朝尾 正・浅利英吉・井上洋一・石田 甫・今村一郎・海辺不二雄・小笠原暁・小田部 斉・大城戸淳二・加瀬滋男・河田龍夫・木村正行・北川一栄・久保俊彦・近藤次郎・後藤正夫・権藤 元・佐々木英治・坂口 実・司馬正次・柴田隆史・渋谷政昭・千住鎮雄・反町洋一・高橋浩一郎・竹内 啓・刀根 薫・西田俊夫・西野吉次・野村 武・原 亨・原野秀永・福田治郎・藤田史郎・堀川映二・牧野都治・松田武彦・三根 久・三猪 武・水野幸男・村上 豊・村田秀雄・本告光男・森村英典・矢部 真・八巻直躬・依田 浩・横井満・横山勝義・横山 保・渡辺 浩・青沼龍雄

会員計報

杉本欣一殿 清水建設株式会社計算センター

所長 55歳

昭和49年5月31日 消化器系疾患のため
逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいた
します。

IFORS・TIMS 参加申込みについて

IFORSは、各国のOR学会に代表者数が割りあてられ、各国OR学会では会員の中からの参加者を代表者に指名します。したがって、IFORSの参加者はいずれかの国のOR学会員であり、そのOR学会の代表です。

日本は主催地ですので、日本OR学会員は、250人（全参加予定者500人の1/2）まで参加できます。参加ご希望の方はIFORSの正式な申込書をご請求ください。

TIMSは、すべて個人の資格での参加になります。日本OR学会・TIMS日本支部のどちらにも属していない方も自由に参加できますので、会員外の方にもおおいにおすすめてください。

TIMSの参加申込用紙は、日本OR学会事務局または、TIMS日本支部（〒160 東京都新宿区西大久保4-170、早稲田大学システム科学研究所内、関谷、電話03-209-3211、内線391）にハガキか電話で請求してください。お送りします。

両大会への会員各位の積極的な申込みをお待ちしております。

Journal of the Operations Research Society of Japan の発行形式について

本学会英文誌*JORSJ*の刊行が思うにまかせず、論文ご投稿の方々をはじめ会員諸兄にたいへんご迷惑をかけておりますことを心苦しく存じております。昭和50年度は学会の財政事情がさらに苦しくなりました。それに和文誌『経営科学』は従来どおりに——できれば少しでもより良いものにして——発行したいと思っておりますので、英文誌のほうに年間4、5編の論文しか刊行できない状態になります。この困難を打開する一つの方法として、昭和50年度の*JORSJ*は著者原稿を直接写真にとり、B5判のオフセット印刷として発行することになりました。いささか見苦しい体裁になるかもしれませんが、こうしますと年2回発行して、12、3編の論文を刊行できる予定であります。こうした処置をとりますことをなにとぞご諒承くださるべくお願い申し上げます。

編集委員長

『OR事典』近刊予告

A5判、600ページ、上製箱入、予価15,000円

ご存知の向きも多いと思われるが、本書はORの新たな発展とより広範な普及定着をはかることを目的として企画され、その作業は日本OR学会とORの普及団体である(財)日本科学技術連盟との一糸乱れぬ協力のもとに行なわれているもので、6月下旬に刊行される。

おもな内容は、**基礎編**においては現在までに開発された手法が辞引きとして活用できるように要領よくまとめられている。**事例編**では、300の数にのぼる事例を紹介している。さらに**基礎編**の各項目と各事例の対応づけがなされ読者の便が図られている。また**付録**として、経営者向きOR早わかり、経営科学関係の年表、国内外のOR教育の実態とその分析、各種数学公式・図表、OR用語対応外国語等々が付されている。

これらの原稿を完成させるのに実に1,000人(延べ)が動員された。また各種アンケートにより大学・官庁・企業から貴重なデータをお寄せいただいた。まさに本書はOR関係情報の現時点における集大成といえる。

なお、昭和50年6月25日までに申し込まれた会員の方にかぎり12,000円(予約予価、送料240円)でお頒けします。

申込先・(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会

113 東京都文京区弥生2丁目4番16号(学会センタービル)